TEDxYouth@Tokyo2024
活動報告書

目次

TEDxYouth@Tokyoについて
- ディレクターからのコメント (p. 3)
- 2024年 運営メンバーからのコメント (p. 4)
- 卒業生からのコメント (p. 5)

TEDxYouth@Tokyo2022　イベント情報
- 日時・使用プラットフォーム (p. 6)
- 参加者数 (p. 7)
  - 事前申込者数と参加者数
  - 参加者内訳
- 今年度のスポンサー一覧 (p. 8)
- トーク概要 (p. 12)
- ワークショップ概要 (p. 16)

TEDxYouth@Tokyo 運営ロジスティックス
- 今年度の決算 (p. 18)
- 各チームの活動時期 (p. 19)
- 各チームの活動内容 (p. 20)
  - スピーカーチーム
  - PRチーム
  - デザインチーム
  - テックチーム
  - スポンサーチーム
  - ワークショップチーム
- 今年度の成果 (p. 26)

ディレクターからのコメント

2024年2月11日に、TEDxYouth @Tokyo 2024イベントがWeWork白山トラストタワーで開催されました。当日は6名のスピーカー、2つの音楽グループ、そして3つのワークショップが登壇しました。会場には計99名の来場者があり、その上にTEDxメンバーは61名でした。また、ライブストリームでは600以上の視聴がありました。このイベントでは、WeWorkが提供する快適で広々とした会場が、来場者に歓迎され、スピーカーやスクリーンを簡単に見ることができました。会場には、ワークショップを行うための2つの別室も用意され、準備がしやすく、人の移動がスムーズになりました。聴衆はプレゼンに注意深く耳を傾けたり、ワークショップは満席だったり、パフォーマンスは雰囲気を盛り上げたりして、アイデアを広めるイベントを開催することに成功しました。スポンサーのおかげで用意したクッキーやお茶、ステッカー、ポスター、パンフレットも参加者から好評を得て、私たちの努力が素晴らしいイベントにつながったことを嬉しく思います。

TEDxYouth@Tokyo2024 ディレクター
エスター　チョン/Esther Chong

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

2022年 運営メンバーからのコメント

わたしたちTEDxYouth@Tokyoは学生に声を与えてお互いに刺激し合うことを目標に活動しています。私は 2022年のコロナ禍で企画したオンラインイベントを始め、3回TEDxYouth@Tokyo のデザインチームリーダーとして団体に携わってきました。当日何百人もの観客を楽しませるために 5つの団体は1年前から準備を進めています。私たちの団体の良いところは運営側の仲の良さだと思っています。団体を形成する40名 以上のメンバーが集まるミーティングではプレゼンテーションやディスカッションを 通 してそれぞれのチームの進捗情報を共有しています。学生が学生のためにーつとなって企 画をすることの 重 要 性と価 値を実 感しました。またTEDxYouth@Tokyoの理念と目標を支えてくれる企業や人々と実際にイベントで会うことができてとても嬉しかったです。

井上　さら（高3）運営スタッフ歴3年

今年のTEDxYouthイベントは、今年は例年より多くの参加者数を記録し、とても盛り上がり嬉しく思います。新たな試みとして、コロナ禍からの脱却を図り、オフラインワークショップなどを開催したのにも関わらず、スケジュール通りにイベントが進行したことは凄いし誇らしく思います。ことしは様々なスピーカーが集まってくださり、色々な話が聞けたとても楽しいイベントでした。

ジン・チェイレン(高3) 運営スタッフ歴3年

2023年の「Fuse the Muse」に続き、今年のイベント「 Ying and Yang」も無事対面でイベントを開催することができました。昨年はオフラインイベントとオンライン配信および録画を同時進行で行うのが初の試みだったため、沢山の障壁に衝突することがありました。しかし、昨年の反省点を糧にし、今年もオンライン配信および録画に再挑戦し、配信と録画の品質を大幅に向上させることに成功しました。その際に、私リーダーが会場にそったセットアップを沢山考え計画し、各メンバーが咄嗟の問題に臨機応変に対応し、そして何よりチームメンバー同士で連携をとって協力をすることにより、先ほど申しあげた改善につながったと考えています。現在のTech Teamメンバーは友好関係が素晴らしく、才能に溢れている個々により構成されているため、今後の　TEDxYouth Tokyoのイベントでは今年以上に素晴らしい Tech Setupを準備してくれると期待しています。

さいとう　れお（高3）運営スタッフ歴3年

TEDxYouth@Tokyo卒業生からのコメント

TEDxYouth@Tokyoは、私の青春における貴重な一ページです。高校一年の時、担任の先生にスピーカーを勧められたのが始まりでした。コロナ禍でのオンラインミーティングを重ね、スピーチを練り上げ、TED Talkの当日を迎えました。スピーカーとしてアイデアを広める素晴らしい経験をさせていただき、その後は将来のスピーカー達を支えたいと思い、スポンサーチームに参加しました。

TEDxYouth@Tokyoでの初年度は、先輩たちから企業への連絡方法や、スポンサーを獲得するための話し方など、さまざまなことを学びました。特に、頼りになるチームメンバーと共に活動し、TEDへの取り組みや学業に励む姿勢から多くの刺激を受けました。次年度はリーダーをサポートし、スケジュール管理などさらに多くのことを学びました。多様なバックグラウンドを持つメンバーとの活動は、私を刺激し、大きく成長させてくれました。

現在、大学では経営学を学んでおり、HRを将来的には深めようと思っていますが、TEDxYouth@Tokyoでメンバーのモチベーションをどう上げるかを考えていたことに起因します。余談ですが、TEDで出会った友人たちとは今でも集まり、当時は関わりがなかったメンバーとは、海外であるにも関わらず大学のクラスが同じです！TEDでの活動を通じて築いたネットワークは、私にとってかけがえのないものです。

～2023年元運営スタッフ

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

TEDxYouth@Tokyo卒業生からのコメント

TEDxYouth@Tokyoをご存知の方々は、我々に「多文化」というイメージを強く持たれると思います。そんなTedに海外経験もなく、英語ネイティブでもない私は、恐怖と期待を持って入りました。
圧倒的に不利な立場だと理解しつつ、私がTedに応募した理由は、理念への共感と自己改革への欲望でした。
Tedの理念である”idea worth spreading ”とは、ただ単に素晴らしいアイデアを持つ人の意見を聞くということではありません。全ての人が最小限の努力で世界のあらゆるトピックの本質に触れ、人生の学びを得られるツールであるべきだということです。
本来、ある特定の分野から見る世界というものはその分野を極めた人のみが知り得る景色です。しかしながら、Tedは洗練された魅力的なスピーチを通してその景色を全ての人に広めることができるツールであり、そうあるべきツールです。このことから、貧困を含めたあらゆる格差に興味を持っていた私は、この理念に強く共感し、応募を決意しました。
また、日本という比較的恵まれた環境に生まれ、社会に無知であるという自覚から、あえて多文化という逆境に身を置き、自分を変えるという選択をしました。
この経験を通して学んだことは、「努力は報われる」という言葉が一部の人々にとって幻想に過ぎないということです。世の中に絶対的格差は存在し、環境によって限界というものは存在するということです。
一見すれば悲観論ですが、換言すれば格差を是正できるのは、恵まれた立場にある私たちということです。その一助として、これからもTEDxYouth @Tokyoが存続し、活動することを願ってやみません。最後になりますが、Tedの活動に賛同し、協力していただいた方々に卒業生を代表して厚く御礼申し上げるとともに、今後の活動への御助言、御協力賜りますようお願い申し上げます。

野津　菜々子（大学1年生）
～2023年元運営スタッフ

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

日時・使用プラットフォーム

イベントタイムテーブル

Time	Schedule	Speakers/ Performers
10:45-11:00	Audience arrives (15 min)	
11:00-11:15	Opening (15 min)	
11:15-11:30	Speaker 1 (15 min)	Mr. Pankaj Arjunwadkar
11:30-11:45	Speaker 2 (15 min)	Kei Hato
11:45-12:00	Performance (15 min)	Masala
12:00-12:45	Workshop (45 minutes)	
12:45-13:45	Break, Lunch (1 h)	
13:45-14:00	Speaker 3 (15 min)	Muhammad Ajnas Ahmed
14:00-14:15	Speaker 4 (15 min)	Natsume Kurade
14:15-15:00	Workshop (45 minutes)	
15:00-15:15	Speaker 5 (15 min)	Jun Kang
15:15-15:30	Speaker 6 (15 min)	Takuma Kawaguchi
15:30-15:45	Performance (15 min)	Impulse
15:45-15:55	Director's Remarks (10 min)	
15:55-16:05	Closing (10 min)	

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

事前申込者数・視聴者数

事前申込者数

139人

ライブ配信
総視聴者数

666人

事前申込者数として、139人を確実値として獲得できた。昨年と比較し、約2倍の事前申込者数であり、来年度も参加者数を増やしていく見込み。

昨年度はコロナ禍の影響により、事前申込者が62人だったのに対し、今年はコロナ禍からの回復により人数が大幅に上回った。総視聴者数は去年の676人から人数を維持することができた。

昨年の課題だったワークショップの参加者数は事前予約に限らずイベント参加者が任意で参加できるようにした為、人数も増えた。

今年度のスポンサー様

本年度は「陰と陽」というテーマにおいて、スポンサーの方々との繋がりと円滑なコミュニケーションを意識しました。今後もエネルギッシュかつクリエイティブなコミュニティで在り続けるために活動を続けてまいります。今年度皆様には多大なるご協力を頂きました。この場を借りて、ご協力いただいた全スポンサーの方々に感謝の意を申し上げたいと思います。

伊藤園

FUJIFILM

wework

Peatix

CookieTime® Japan Co., Limited

Tokyo Academics

TEDx Youth@Tokyo

x = independently organized TED event

今年度のスポンサー様

＜インカインド＞

富士ゼロックス株式会社

内容:　パンフレット, ステッカー, ポスターの印刷

企業側担当者:木村様

ホリゾンインターナショナル株式会社

内容:Tシャツへの印刷

企業側担当者:河田様

Peatix Japan株式会社

内容:チケットシステム提供

企業側担当者:山宮様

株式会社伊藤園

内容:緑茶の提供

企業側担当者:中村様

株式会社クッキータイム・ジャパン

内容:クッキーの提供

企業側担当者:ジェイソン様

Wework Japan

内容:イベント会場の提供

企業担当者様:ジョニーユー様

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

トーク概要

Let It Be - Takuma Kawaguchi(↑)

台湾と日本のハーフであるタクマは自分の矛盾した二つの宗教アイデンティティに違和感を感じていました。つまり、彼を神を信じているが、信じていないのです。そんな彼は二週間の修行を経て、悟りを開きました。彼は、哲学、ジレンマ、国際紛争に触れながら、悟りを通して得た解決策を語ります。

The beauty standard crisis: Simple steps to make ‘love yourself’ a reality (↓)Kei Hato

ボディポジティブと言うことは簡単でも、実践することはそれほど簡単ではありません。現代社会を生きる私たちは日々SNSで完璧な笑顔や完璧なスタイルの写真を目にします。特に日本のような単一の美の基準が存在する環境では、自分の身体についての否定的な考えを払拭することはとても難しいのが現状です。ケイはネガティブなボディイメージに悩んだ経験をもとに、’love yourself’のマインドセットを実践するための新しいアプローチを紹介しました。

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

トーク概要

To live with passion, to live life- Natsume Kurade(↑)

17歳のナツメは 自分にパッションがないと気付いてから、「情熱を追い求めなさい」と言う言葉を負担に感じていました。彼女がパッションを見つけるにあたって分かったのは、内省することとと表現することの重要さ。パッションを育む方法を話す中で、どうやって自分の人生を生きることができるかを考えます。

Why our Desires are Killing Earth- Jun Kang (↓)

物においての欲望と必需の境目はどこにあり、そしてそれらが私たちにどういった影響をもたらすのか。答えは一見簡単そうに見えるが、複雑でもあります。ジュンはこの複雑な関係性を紐解き、人生においての幸福度、人類が今直面している世界的な問題と結びつけこの質問の解答へ挑みます。同時に、人間の「欲望」と「必需」と言った意思のプロセスをわかりやすく説明し、この両者のバランスがこの時代においていかに重要であるのかを話しました。

トーク概要

Have you considered your life in old age?‐Ajnas Ahmed(↑)

アジュナスは、世代間の断絶から社会的孤立による悲痛な影響まで、高齢者が直面する差し迫った課題を明らかにしました。この問題は高齢者だけでなく、若い世代の生活に喜びと目的を吹き込むことになります。そこで、彼はより思いやりのある世界の創造に貢献する行動に参加するよう語りました。

The future of Gen Z- “The Art of the Possible”

-Pankaj Arjunwadkar (↓)

パンカジは若者が100年間を最大限に活用することを願っています。昔、80歳以上生きる人の存在が稀であったが、Z世代以降にとっては、90歳以上生きることが当たり前になると言われています。新たな世代に伴い、寿命が延びることで、今までになかった生活の安定性の問題が起こり、私たちの生き方にも重く反映されます。パンカジは6つのステップを通して、長く充実された人生を送るためのコツを話しました。

ワークショップ概要

Mio Nakano

IROIROというボードゲームを開発した中学生のなかのみおさんに彼女の着想と経験のお話をしていただきました。
ワークショップの中では、差別や偏見をなくして、ダイバーシティを実現するためのボードゲームIROIROで、実際に遊びながら学べました。

ワークショップ概要

Shine On! Kids

「入院中の子どもたちを笑顔に」をミッションに掲げ、入院中、長期療養中の子ども達に革新的な心理社会的支援プログラムを提供する団体、Shine On! Kidsにお話をしていただきました。

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

今年度の決算

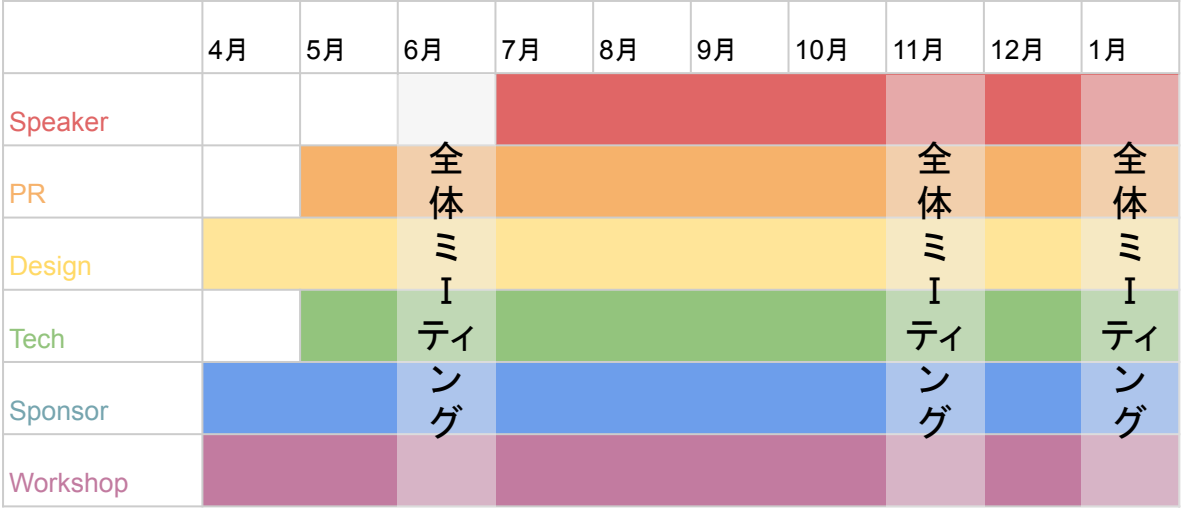
収入の部	
収入源	金額
協賛企業	¥0
2020年度の繰越金	¥114,624
合計	**¥564,624**

支出の部			
部門別			
部門	見込み予算	支出	差額
Sponsor Team	¥0	¥27577	-¥27577
Speaker Team	¥2,300	¥1600	¥700
Workshop Team	¥10,000	¥220	¥9,780
PR Team	¥10,000	¥0	¥10,000
Design Team (スタッフ用Tシャツ)*	¥20,000	¥2501	¥17499
Tech Team (トークの撮影器具等)*	¥20,000	¥31076	-¥11,076
予備費	¥100,000	¥0	¥100,000
合計	¥162,300	¥62,974	¥99,326

残高	
残高(2022年度の繰越金)	**¥456,699**

※見込み予算はオフラインイベントくを想定していた時点で設定されたものです。
*:実際に使用した用途

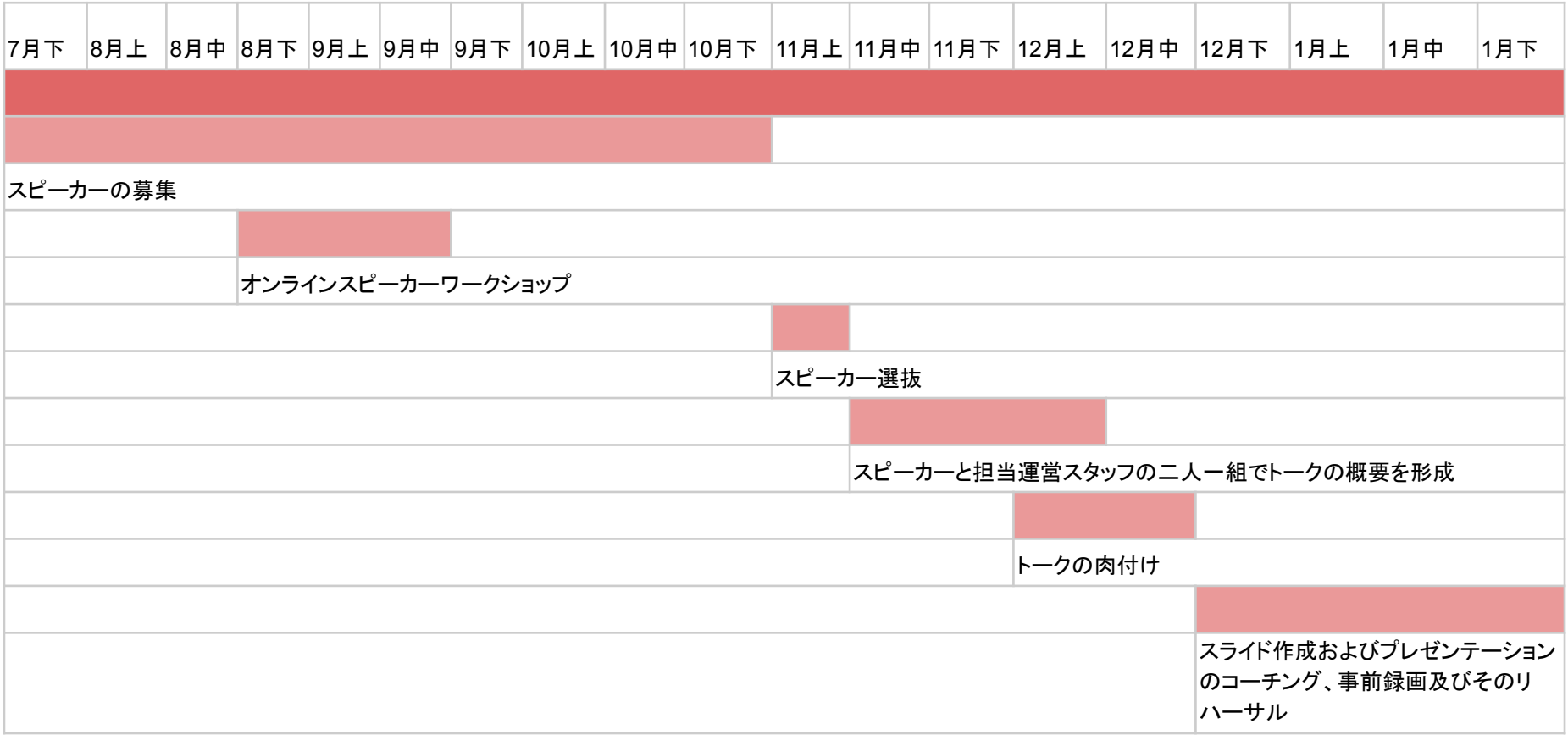
各部署の活動時期



※全体ミーティングは **対面**で全チームメンバーが集まり行われた。
オンラインでは随時チーム間のミーティングが行われた。

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

スピーカー部署　活動内容



TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

PR部署　活動内容

5月上	5月下	6月上	6月下	7月上	7月下	8月上	8月下	9月上	9月下	10月上	10月下	11月上	11月下	12月上	12月下	1月上	1月下
SNSの更新 テックチームと連携しながらPRビデオの計画を立てる																	
		TEDxYouth@Capetownと協力してTED Cricleを毎月実施															
								スピーカー募集のためSNSを更新									
														参加者募集のためSNSを更新			
												イベントポスター等を関東圏50校に送る イベント当日に写真・動画を撮影					

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

デザイン部署　活動内容

4月上	4月下	5月上	5月下	6月上	6月下	7月上	7月下	8月上	8月下	9月上	9月下	10月上	10月下	11月上	11月下	12月上	12月下	1月上	1月下
TEDxYouth@Tokyo OnlineのPR用に色彩計画を立案																			
			TEDxYouth@Tokyo2020のイベントロゴを作成 TEDxYouth@Tokyo OnlineとTED Circleのデジタルデザインを作成・実施																
						スピーカー募集用のポスターを作成													
										TEDxYouth@Tokyo2020のイベントロゴを完成 各チームリーダー・スポンサーチーム用に名刺をデザイン									
												TEDxYouth@Tokyo2020のPR用のポスターを作成							
																参加者用パンフレットを作成 スタッフTシャツをデザイン			
										運営スタッフの手書きメッセージを加え、パンフレットが完成 スピーチ(事前録画)の撮影現場をデザイン									

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

テック部署　活動内容

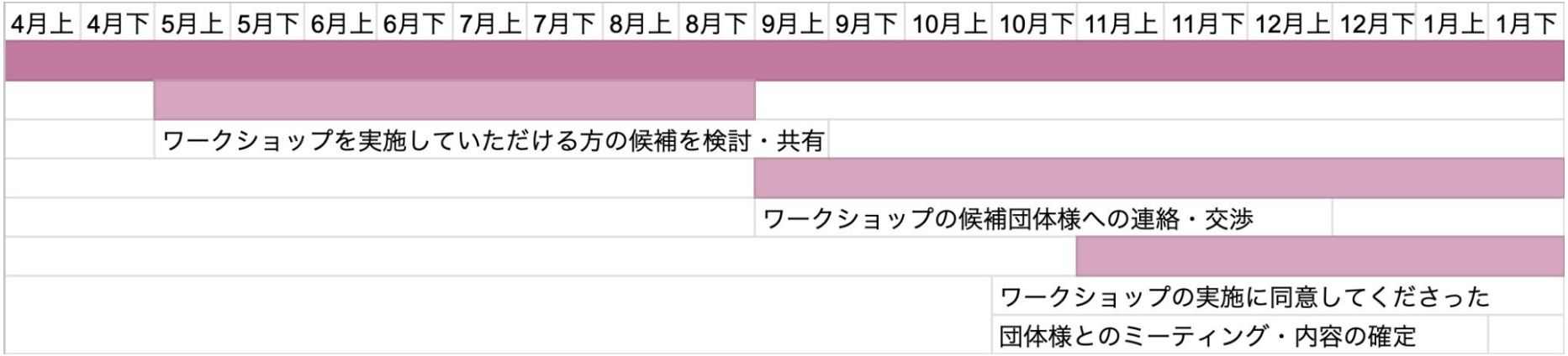
TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

スポンサー部署　活動内容

4月	5月	6月	7月上	7月下	8月上	8月下	9月上	9月下	10月上	10月下	11月上	11月下	12月上	12月下	1月上	1月下
アイスブレーキング、企業にお渡しする協賛案内書の作成 今年度の方針の決定																
			協賛していただける企業に対し、メールもしくは電話での問い合わせを行う													
				前向きに検討して下さった企業とのオンライン面会やメールでEDxYouth@Tokyoの団体やイベントの詳細な説明を行う この時点で協賛が決定している企業とは、具体的な協賛内容の交渉や当日までの流れの話し合いを行う												
													協賛企業の確定、当日までの流れの 再確認や当日の流れの話し合い			

TEDx Youth@Tokyo
x = independently organized TED event

ワークショップ部署　活動内容



2024年度の成果

1

コロナ禍からの回復後、今年度のイベント参加者数はコロナ禍前を上回り、規模の拡大に成功した

2

若者にインスピレーションを与え、思いを共有する場として、本プラットフォームの存在をSNSを活用した広報および企業様のご協力によって、認知度を向上させた